

名古屋経済大学市邨高等学校

令和 8 年度 第2回 教員向け研修会

“For Now, For the Future.” Vol. 2

～先端教育の「現在地」と「これから」～



令和 8 年 8 月 24 日(月)
9:00～12:00 (受付 8:30～)

研修番号①

Apple 認定教員とスペシャルゲストが語る、 生成 AI 時代における学校教育の役割とは？

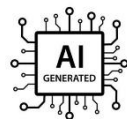
コロナ禍により、学校の役割が改めて問い直されました。学校教育のあり方を大きく変えうる強力なツールである生成 AI を活用し、新たな時代をどのように創っていくのか。この研修会では、スペシャルゲストとして文部科学省 学校 DX 戦略アドバイザーで、Google 認定イノベーターでもある田中善将先生をお招きし、ADE 認定を持つ本校教員とともに、AI との向き合い方について考えていきます。

※ADE=Apple Distinguished Educator の略称

内容

- (1)生成 AI にできること
- (2)授業での活用事例
- (3)グループディスカッション

—生成 AI 時代における教員の役割とは—



講師



スクールエージェント株式会社 代表取締役
文部科学省 学校 DX 戦略アドバイザー
Google 認定イノベーター

田中 善将氏



市邨高校 国語科教諭
佐藤 優馬



Distinguished
Educator



市邨高校 社会科教諭
田中 育彦

研修番号②

学校を、変えていく力 ～カリキュラムデザイン×探究の視点から～

講師

主体的・対話的で深い学びを学校全体で実現するためには、探究的な学びの視点に立ったカリキュラムデザインが不可欠です。この研修では、高校3年間あるいは中高6年間で「身につけさせたい力」や「育てたい生徒像」をもとに、カリキュラムマネジメントによる一貫した学びの設計と、具体的な実践事例を共有します。さらに、その実践を支える評価の在り方や教科横断的な取り組みにも触れながら、教員の役割と、学校全体で持続的に推進していくための組織作りについて考えます。

内容

- (1)主体的・対話的・探究的な学びに必要なもの
- (2)カリキュラムデザインとカリキュラムマネジメント
- (3)市邨での実践事例とその効果
- (4)グループセッション・情報交換等



市邨高校 副校長
井面 千草



市邨高校 教務主任
カリキュラムマネジメント委員長
堀場 康行



研修番号③

GDM 教授法 ～ハーバード大で開発された 英語脳を育てるアプローチ～

講師

段階的直接法(Graded Direct Method/GDM)は、自分の立場で英語を話しながら英語を英語のまま理解し、表現する方法を段階的に身につけることを目指す、米ハーバード大学で開発された教育メソッドです。このたび、GDM を数々の実践とともに学校教育の現場で活用(※)してこれた元愛知文教大学講師の松浦克己(まつうら かつみ)先生をお招きし、教授法の紹介および授業での活用方法等について実践報告を交えて研修を行います。

※ each, not A or B, behind, 仮定法、現在完了進行形など具体的な導入プランが GDM の HP にて紹介されています。(右の QR コードからご覧ください)

内容

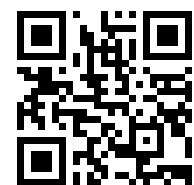
- (1)GDM とは(授業展開とセオリー)
- (2)中学校での実践例および導入・活用方法
- (3)市邨高校での実践報告
- (4)グループセッション・情報交換等



GDM 英語教授法研究会 HP



元 愛知文教大学講師
松浦 克己氏



松浦氏プロフィール
(国際教育ナビ HP より)



GDM 授業の様子

研修番号④

平和教育と国際支援

～ユネスコスクール活動で育むグローバルマインド～

市邨高校は創立者・市邨芳樹の理念を基に、ユネスコスクール(ASPnet)に加盟し、平和教育の推進に取り組んでいます。主に難民支援を目的としたフェアトレード活動や、紛争に起因する貧困地域への教育支援を継続的に実施しています。さらに県外・海外の高校と連携し、姉妹校・パートナーシップ協定のもとで文化交流や相互訪問を行い、生徒の視野を広げています。本研修ではこれらの実践を紹介し、ユネスコスクール活動について意見交換を行います。

講師



市邨ユネスコ活動
紹介ページ

内容

- (1)市邨高校ユネスコスクール活動について
- (2)協働国際支援活動をはじめたきっかけ
- (3)活動を充実し、広げていくためには？
- (4)私たちと一緒に国際支援活動をしませんか？



研修番号⑤

なぜ今、放射線について学ぶべきなのか

～授業実践と実験ワークショップ～

エネルギーや医療、食料など、放射線に関わる社会的課題について適切に判断できる生徒を育てることは、これからの理科教育に求められる重要な役割のひとつです。このたびの研修会では、放射線教育の意義や実践、高校生と大学院生が協働して行う探究学習の事例を紹介します。あわせて、iPad を活用した運動エネルギーの実験など、中学校理科の授業で活用できる教材や指導法についても紹介し、幅広い理科教育の実践に役立つ内容をお届けします。

講師



内容

- (1) 放射線教育実演のネタ、全部見せます (大阪公立大学 秋吉先生)
～関西で熟成されたオープンスクールコンテンツの全国展開～
- (2) 高校生・大学院生による六ヶ所研修の実践報告 (市邨 大津)
- (3) 市邨中学校 理科の実験紹介 (市邨 田中)
—iPad を使った運動エネルギーと速さの関係のグラフ化—



お申し込み方法

以下の QR コードからアクセスしてください。

⇒Google Form に遷移しますので、必要事項をご入力の上、

「送信」ボタンを押してください。

★申込期日: **8 月 10 日(月)**まで

※申込期日後は TEL052-721-0161(入試広報室)まで
ご相談ください。

(8/13~16 は学校閉鎖期間のため対応いたしかねます)



参加申込用 QR

ACCESS MAP



※お申し込みをキャンセルされる場合は、こちらから⇒



お車でお越しの方へ



至 今池



※台数に限りがございますので、満車の際はご容赦ください。

【お問い合わせ先】 名古屋経済大学市邨高等学校 入試広報室 担当:岡本・林

〒464-8533 名古屋市千種区北千種三丁目 1-37 TEL 052-721-0161 FAX 052-721-0211 E-mail: nyugaku@ichimura.ed.jp